

学生	所属	SDGsに関してご意見、ご要望などがありましたら、記入ください【任意】
	医学部	SDGsに関する活動機会がほしい、または行われている活動がSDGsに関わっていることを伝えて意識づけをしてくれるとありがたいです。
	総合理工学部	moodleにSDGsに対してどのような活動を行っているのか、またボランティアの募集などの情報をコースとして設立し、閲覧したい。
	法文学部	関連する授業(環境問題通論など)で、もっと実習のようなことを行ってもよいと思う。
	医学部	今まで大学でSDGsに関しての講義や議論し合うような機会はなかったように感じるため、学生のSDGsに対する意識をもっと高める活動があると良いと思います。
	法文学部	SDGsのような、人々の共通認識があることで世の中はより良い方向に変わっていくと思うし、実際に取り組まれている団体は評価すべきだと思う。しかし、「SDGsでお金儲け」や「SDGsは詐欺」と言った言葉をしばしば耳にする。SDGsの大切さや取り組み以外にも、欠点や注意すべきところなどマイナス面も教えていただきたいと思う。
	生物資源科学部	個人のできる行動を知る機会があったら、皆が実行しやすいように思います。
	法文学部	ボランティア等の活動に関する募集などを積極的に配信して欲しい
	法文学部	SDGsを日常生活により身近に感じてもらうために、簡単な取り組みでもなんでもいいので、実施例を多く設けてより多くの学生に体験してもらうことが大事だと思います。例えば、大学のメインストリートの植え込み部分に花や植物などを植える・育てる(水やりを行う)というような取り組みです。ただしこの例を行う際、注意すべきなのは「取り組みを行う人を確定しない」ということです。誰でもいつでも、花に水やりができる状態にしておくこと(植え込みの近くにじょうろを置いておくなど)で、その取り組みへ参加するハードルが下がって「やってみようかな」と思う人が増えると思います。現在、島根大学にはある程度の緑がありますが、正直なところ寂しいレベルだなと感じています。地方大学の特権である自然との近さ、自然との共生という利点を、全く活用できていないと思います。SDGsへ取り組むための一つのアイデアとして、ぜひ活用していただければ嬉しいです。
	総合理工学部	島根大学内でSDGsに関係する活動をしている有志の団体への基金のようなものを設置していただきたいです。行政や公的機関が募集している助成金などは、中長期的な計画が必須なものが多く、学部の4年間という限られた中では自由に活動することができないと考えられます。また、クラウドファンディングなども考えられますが、活動の恩恵受益者が島大生に限定される場合、あまりパトロンが増えないということもあります。学生の中では、さらに島大を良くしたいと思いを持っている者もいると思いますので、ぜひご検討お願いいたします。
	法文学部	何をしたらいいのかあまりわかっていない節があるため、具体的なものを大学で教えてほしい。
	総合理工学部	気候変動についてはこれから地球生態系と関連して考えていくべきです。
	医学部	非常に素晴らしい目標です。
	人間科学部	SDGsについて最初に思い浮かんだのは、これら17の目標に向かって行うことはただ1つだけでは良くないのではないかとということでした。従って、1つを行うことは、17の目標に向かって行動しているのだという意識を持つことが重要なのではないかと感じました。
	医学部	SDGsの活動を行うことで本当に社会は良くなるのかということを検討したい。
	総合理工学部	気候変動対策に紙レポート廃止を強く推奨します
	人間科学部	大学は研究機関ですから、島大が研究の方向でもSDGsに貢献できたら素晴らしいなと思います。
	医学部	SDGsで取り組んでいる内容、活動はとてもいいことであり、賛同し、今後も自分にできることは継続的に続けていきたいものだと考えています。しかしながら、当たり前に取り組むべき17個の事をわざわざ大々的に取り上げていることから、一部の関係者の利益のためにまたは企業等のイメージアップのためにSDGsというものを作ったのではないかと感じてしまいあまりSDGsというものには賛同できません。
	法文学部	島根大学がSDGsについて何に取り組んでいるか分からないが、行っていることをもっと目に見える形で積極的にアピールすべきだと思う。
	医学部	ジェンダー、多様性について勉強する機会ほしいです。
	教育学部	良い所ばかり取り上げるのではなく、SDGsという考え方が持つ問題点についても取り上げ、議論しより良い概念を生み出そうという試みが必要。
	法文学部	学生がSDGsのためにできる行動は限られている気がする。何ができるのかわからない。
	法文学部	学生でも普段の生活で取り組めるSDGsの具体例を知りたいです。
	教育学部	SDGsの課題に対して取り組む方法を知りたいです。(例:④質の高い教育をみんなにの場合は、寺子屋のようなところで教えると言うような感じで他の16個について知りたいです。)地域ごとの抱える課題の優先度とSDGsの掲げる17の目標とのギャップより、どちらを優先に取り組んでいくのか。
	法文学部	また、SDGsの取り組みを行っているが、色々な活動でうたっているが、ただ今まで行ってきたものにSDGsが大切だからと目標を合わせている状況になっていないか。
	医学部	そもそもSDGsについてふんわりとした知識しかないため当事者意識を持ちにくい。
	医学部	なんとなく知っているけど、具体的にどう行動すべきかわからない状態なので、自分の日々の行動が良くも悪くも何につながっているのかがクリアになると取り組みやすくなると思いました。
	医学部	目標は知っているが、実際に個人単位でどのような行動をしたらいいか、どのような取り組みがされているのか、あまり分かりません。
	医学部	学生にただSDGsの達成に向けて努力しようと呼びかけてもあまり効果はないと思う。
		学食などで売れ残って廃棄が出そうになったら安く売るなど、SDGsに興味がない学生でも自然に参加してしまうような仕組みがあれば良いと思う。
	総合理工学部	現在は教育に力を入れる段階だと思います。また、研究や開発に関する支援が大事だと思います。
	総合理工学部	入学時オリエンテーションなどで、講習があれば島大の学生全体のSDGsの認知度がより高まるのではないかと思います。
	人間科学部	世界や国といった大規模な目標というイメージが強いので、それらをどのように個人の心掛けと結び付けるのが難しく実感が湧きにくい。どのような個人の行動がどのようにSDGsに貢献できるのかを知る機会が欲しい。
	医学部	SDG sに関するボランティア活動があったら積極的に参加したい。

教育学研究科	学内の「もったいない」を減らす。無駄を無直す。リサイクルしやすい環境を整える。（例えば、弁当の入れ物がリサイクル仕様になっているが、それをどうして良いか分からず、ゴミ箱に捨てるしかない。）廃棄になるものを割引して提供すれば、学生たちの需要はあると思う。放置自転車も、学校内外に欲しい人がいるのでは・・・。
人間社会科学研究科 Faculty of Life and Environmental Sciences	分かるように島大広報などで告知を行ってほしいと思う。 I think student support is the most important. If we educate the young generation it means it will be able to achieve the SDGs till to the 2030 or after the pinpoint deadline, because with quality of the education we can pave for the other goals to achive as easy as possible. The survey which are related to the issues of SDGs are also very important becasue by such survey we can asses the awarness of the humans they are involved currently in the study of the SDGs.
Graduate School of Medical Research	Firstly, I think socialization about SDGs is the most important now. To spread all about SDGs knowledge to everyone.
Graduate School of Natural Science and Technology	Thank you for your hard working on SDGs. I kindly request you to conduct some programs to inform the students regarding the SDGs and teach them the importance of that as much as possible.

教職員	所属	SDGsに関してご意見、ご要望などがありましたら、記入ください【任意】
	生物資源科学部	大学の取り組む姿勢は立派だと思っている。
	生物資源科学部	ホームページの広報がアクティブ（更新されて動的なメッセージを発しているか）になっていないので、その辺りを工夫してほしいと思います。
	地域未来協創本部	社会全体にSDGsの考えが浸透した中で、島根大学として特徴のある取り組みとして、進めるべき。地方大学の強みである地域連携もその1つ。構成員のSDGsへの意識がさらに向上する対策も必要。
	教育学部・附属学校	SDGs自体を批判的に検討することも大事ではないだろうか。例えば、「ジェンダー平等」のもとで日本が取り組んでいるのは「男」「女」平等の取り組みであり、そこには性的マイノリティに対する視点が不足している（ように感じる。）SDG sの目標は素晴らしい部分もあるが、すべてが正しいというわけでもないのだから、妄信するのではなく、（取り組むのであればその個別の項目について）本当にそうあるべきかを個々が考える機会が必要だろう。
	グローバル化推進本部 生物資源科学部	まずSDGsについての理解を深めることが大切であり、その啓発活動を推進していきたい。 SDGsの概念自体は極めて重要だと思う。だけど、SDGsという流行りに敏感になりすぎるのは良くないと思う。マスコミがSDGsを取り上げるから島根大学もSDGsに注目するのではなく、島根大学はどういう点で世界に貢献できるのかを明確に発信する必要があると思う。
	グローバル化推進本部 医学部・医学部附属病院	学生を含めたみんなが、些細なことながら実践できることについての喚起を頻繁に行うことが大切な気がします。 SDGsに対して何かしらの行動はしていると思いますが、当てはまるというほど特別なことはしていませんし、これと言って行動を起こしますかといわれると生活の中の範囲としか申し上げられないと思います。しかし、大学ですのでこれらの取り組みを実際に仕事としている人の集団でもありますので、各教室でSDGsに関する研究を公開講座ですとか、シンポジウムを開くとかしてもいいのかもしれない。質の高い教育であればボランティアで塾をすとかの地域貢献も面白いと思います。島根大学なので島根県に還元する取り組みがあればいいなと思います。
	生物資源科学部 総合理工学部 総合理工学部 医学部・医学部附属病院 医学部・医学部附属病院 医学部・医学部附属病院	SDG sでは網羅できない部分があるとわれてきています。SDG sのその先を見据えて、構成員が快適に働ける職場環境の構築に取り組んでもらいたいです。 これらの目標を達成するために島根大学が行った進歩について、いくつかの具体的な例を見ることができれば幸いです。 教員の意識向上が一つの課題だと思います。 小さなことから始められることを島根大学全体で共有して、小さな一歩からみんなでぜひ始めましょう！ 具体的な行動を望みます。出雲地区では全く取り組みを見ません 現在実施していることがゴールの達成に向けての行動に当てはまっているかもしれないので、それを広報してもらって自覚出来たらよいと思う。例）未使用部屋の電気を消す・・・（何の目標か？）
	医学部・医学部附属病院 事務部門	廃棄するものが多い気がします。物を有効活用するための各部署のコミュニケーションを活発にするべきです。 近年では様々な媒体でSDG sという単語を目にする。その意義は理解できるし、旗印として「SDG s」が掲げやすいことも分かるが、枠組みが大きすぎて具体的な活動イメージが湧かない。本来はもっと身近な活動、例えばゴミの分別や省エネの意識レベルでもSDG sの活動なのではないだろうか。関係者の意識向上を図るのであれば、より身近な活動に焦点を当ててみるのが良いように思う。普段何気なくしていたことが実はSDG sに繋がっていると知れば、SDG sは遥かに近い存在であり誰にでも取り組めることだと認識され、意識向上に大きく寄与するのではなかろうか。
	事務部門	日本に、島根県に、出雲市に、島根大学に、所属する学部/病院に、現在どのような問題があるか共有できるような情報発信をしてほしいです。メディアに出てくるSDGsに関するニュースはたくさんありますが、自分の身近なトピックとしては意外と実感できていない部分が多いと思っています。
	医学部・医学部附属病院 医学部・医学部附属病院 医学部・医学部附属病院 医学部・医学部附属病院 医学部・医学部附属病院	具体的な事例として環境報告書を紹介すると取組みが理解しやすいと思います。 もっとわかりやすく説明してほしい。また参加できる機会をわかりやすく告知してほしい。 環境保全については特に身近なことなので地道な努力を個人個人でやっていくことが大切です。小さなことでも全員で取り組むといいと思います。ぜひ勉強会などあればうれしいです。 エネルギーの使い方を考えていく必要がある 具体的に行えることを教えていただきたいです。取り組みたいです。